

## 令和5年(5月～9月)の熱中症による救急搬送状況

消防本部消防署

○令和5年の小山市消防本部における熱中症による救急搬送人員数は、156人でした。これは、昨年の救急搬送人員数に比べると13人多くなっています。(昨年の熱中症救急搬送人員数は143人でした。)

○熱中症による救急搬送状況の年齢区分別、傷病程度別等の内訳は次のとおりです。

・救急搬送人員数の年齢区分では、高齢者(満65歳以上)が最も多く、次いで成人(満18歳以上65歳未満)、次いで少年(満7歳以上18歳未満)、次いで乳幼児(生後28日以上満7歳未満)の順となっています。

※新生児の搬送はありませんでした。

・搬送された医療機関での初診時における傷病程度をみると、軽症(外来診療)が最も多く、次いで中等症(入院診療)、次いで重症(長期入院)となっています。

※死亡はありませんでした。

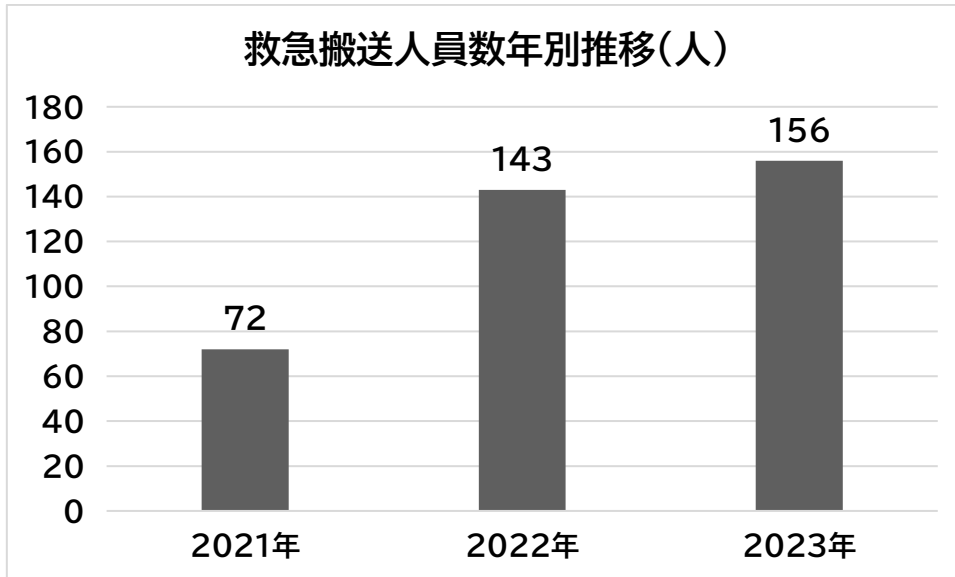
・発生場所ごとの救急搬送人員数をみると、住居が最も多く、次いで仕事場①、道路、公衆(屋外)の順となっています。

## 令和5年(5月から9月)の熱中症による救急搬送状況の概要

令和5年5月から9月の熱中症による救急搬送状況は以下の通りでした。

### 1 総数

令和5年5月から9月の消防本部消防署による熱中症による救急搬送人員の累計は、156人でした。前年同時期の143人と比べると13人増となっています。



### 熱中症による救急搬送状況(2021年から2023年)

#### 「救急搬送人員数及び死亡者数(年別推移)」

	2021年		2022年		2023年	
	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡
5月	0		3		2	
6月	7		35		9	
7月	28		56	1	73	
8月	37		45		56	
9月	0		4		16	
救急搬送人員数	72	0	143	1	156	

### 2 内訳

#### (1)年齢区分別の救急搬送人員数

高齢者(満65歳以上)が最も多く76人(48.7%)、次いで成人(満18歳以上65歳未満)が66人(42.3%)、次いで少年(満7歳以上18歳未満)が12人(7.7%)、乳幼児(生後28日以上満7歳未満の者)が2人(1.3%)と順となっています。

		年齢区分					合計
		新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	
2021年	人数	0	0	9	27	36	72
	割合	0.0%	0.0%	12.5%	37.5%	50.0%	100.0%
2022年	人数	0	3	11	45	84	143
	割合	0.0%	2.1%	7.7%	31.5%	58.7%	100.0%
2023年	人数	0	2	12	66	76	156
	割合	0.0%	1.3%	7.7%	42.3%	48.7%	100.0%

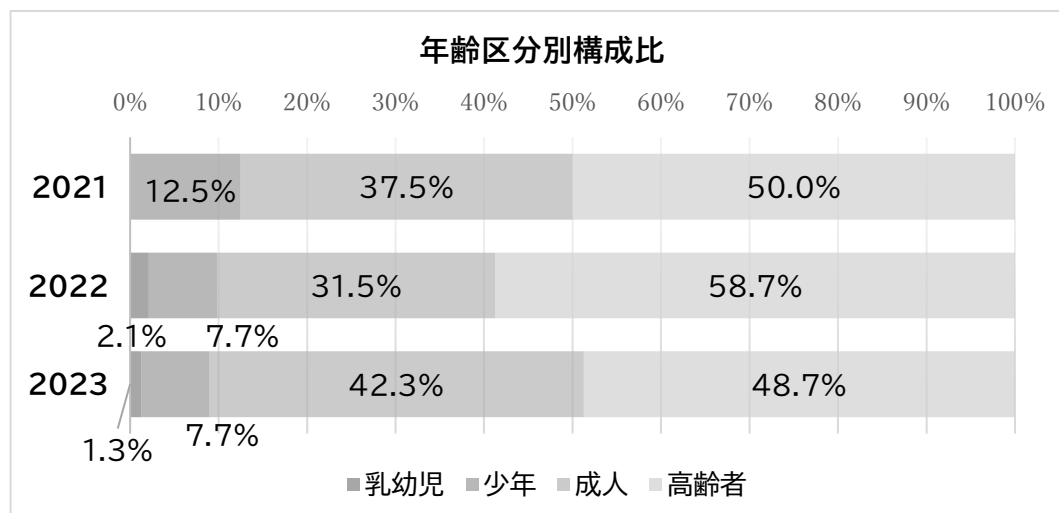
新生児:生後 28 日未満の者

乳幼児:生後 28 日以上満 7 歳未満の者

少年:満 7 歳以上 18 歳未満の者

成人:満 18 歳以上 65 歳未満の者

高齢者:満 65 歳以上の者



(2)医療機関での初診時における傷病者程度別の救急搬送人員数

軽症(外来診療)が最も多く99人(63.5%)、次いで中等症(入院加療)56人(35.9%)、次いで重症1人(0.6%)という順になっています。

		初診時における傷病程度				合計
		死亡	重症	中等症	軽症	
2021年	人数	0	2	18	53	72
	割合	0.0%	2.7%	24.7%	72.6%	100.0%
2022年	人数	1	4	45	93	143
	割合	0.7%	2.8%	31.5%	65.0%	100.0%
2023年	人数	0	1	56	99	156
	割合	0.0%	0.6%	35.9%	63.5%	100.0%

死亡:初診時において死亡が確認されたもの

重症(長期入院):傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの

中等症(入院診療):傷病程度が重症または軽症以外のもの

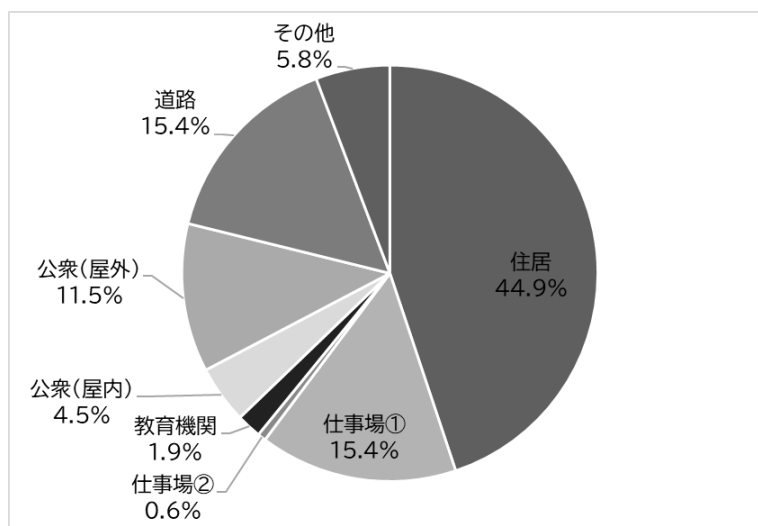
軽症(外来診療):傷病程度が入院加療を必要としないもの

その他:医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないもの、その他の場所へ搬送したもの

※なお、傷病程度は入院加療の必要程度を基準に区分しているため、軽症の中には早期に病院での治療が必要だったものや通院による治療が必要だったものも含まれる。

### (3)発生場所ごとの項目別の救急搬送人員数

住居が最も多く70人(44.9%)、次いで仕事場①および道路の24人(15.4%)、次いで公衆(屋外)が18人(11.5%)、次いでその他が9人(5.8%)、次いで公衆(屋内)が7人(4.5%)、次いで教育機関が3人(1.9%)、次いで仕事場②が1人(0.6%)の順となっています。



	発生場所ごとの項目(人)								合計
	住居	仕事場①	仕事場②	教育機関	公衆(屋内)	公衆(屋外)	道路	その他	
2021年	32	10	1	8	3	9	8	1	72
	45.2%	13.7%	1.4%	11.0%	4.1%	12.3%	11.0%	1.4%	100.0%
2022年	56	20	11	8	5	18	20	5	143
	39.2%	14.0%	7.7%	5.6%	3.5%	12.6%	14.0%	3.5%	100.0%
2023年	70	24	1	3	7	18	24	9	156
	44.9%	15.4%	0.6%	1.9%	4.5%	11.5%	15.4%	5.8%	100.0%

住居:敷地内全ての場所を含む

仕事場①:道路工事現場、工場、作業所等

仕事場②:田畑、森林、海、川等 ※農・畜・水産作業を行っている場合のみ

教育機関:幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校、専門学校、大学等

公衆(屋内):不特定者が出入りする場所の屋内部分

(劇場、コンサート会場、飲食店、百貨店、病院、公衆浴場、駅(地下ホーム)等)

公衆(屋外):不特定者が出入りする場所の屋外部分

(遊技場、各対象物の屋外駐車場、野外コンサート会場、駅(屋外ホーム)等)

道路:一般道路、歩道、有料道路、高速道路等

その他:上記に該当しない項目

#### (4)年齢区分別熱中症発生状況

		年齢区分				
		乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
2021年	運動等		6	5	3	14
	作業中等		0	11	7	18
	その他		4	10	26	40
	合計		10	26	36	72
2022年	運動等		6	7	7	20
	作業中等		0	23	17	40
	その他	3	5	15	60	83
	合計	3	11	45	84	143
2023年	運動等	1	3	10	5	19
	作業中等			33	9	42
	その他			5	2	7
	合計	1	3	48	16	68

運動とは、自ら行う運動や部活動によるもの。作業中等とは、農作業や除草作業のほか仕事中に発症したもの。その他は、運動等又は作業中等に含まれないもの。

#### (5)屋内発生事案のエアコン使用と熱中症関係

##### ① 屋内で発生した熱中症傷病者のエアコン使用状況と年齢区分

年齢区分別	2021年			2022年			2023年		
	屋内での熱中症発生件数	屋内でエアコン未使用での発生率(%)		屋内での熱中症発生件数	屋内でエアコン未使用での発生率(%)		屋内での熱中症発生件数	屋内でエアコン未使用での発生率(%)	
		エアコン未使用			エアコン未使用			エアコン未使用	
乳幼児	0	0	0.0%	1	0	0.0%	0	0	0.0%
少年	4	2	50.0%	3	1	33.3%	3	0	0.0%
成人	8	1	12.5%	19	9	47.4%	29	14	48.3%
高齢者	16	11	68.8%	44	27	61.4%	51	27	52.9%
合計	28	14	50.0%	67	37	55.2%	83	41	49.4%

##### ② 屋内で発生した熱中症傷病者のエアコン使用状況と傷病程度

年齢区分別	2021年			2022年			2023年		
	屋内での熱中症発生件数	屋内でエアコン未使用での発生率(%)		屋内での熱中症発生件数	屋内でエアコン未使用での発生率(%)		屋内での熱中症発生件数	屋内でエアコン未使用での発生率(%)	
		エアコン未使用			エアコン未使用			エアコン未使用	
死亡	0	0	0	1	1	100.0%	0	0	0.0%
重症	1	1	100.0%	1	1	100.0%	0	0	0.0%
中等症	6	3	50.0%	27	17	63.0%	35	23	65.7%
軽症	21	10	47.6%	38	18	47.4%	48	18	37.5%
合計	28	14	50.0%	67	37	55.2%	83	41	49.4%

(6) 高齢者の発生率と傷病程度別発生状況

過去3年を比較すると、高齢者の発生率は毎年50%前後を推移しています。また傷病程度でみると中等症以上の発生率の70%以上が高齢者となっています。

	2021年			2022年			2023年		
	全体	高齢者	高齢者の発生率(%)	全体	高齢者	高齢者の発生率(%)	全体	高齢者	高齢者の発生率(%)
死亡	0	0		1	1	1	0	0	0.0%
重症	2	2	100.0%	4	3	75.0%	1	0	0.0%
中等症	18	13	72.2%	45	36	80.0%	56	42	75.0%
軽症	52	21	40.4%	93	44	47.3%	99	34	34.3%
合計	72	36	50.0%	143	84	58.7%	156	76	48.7%